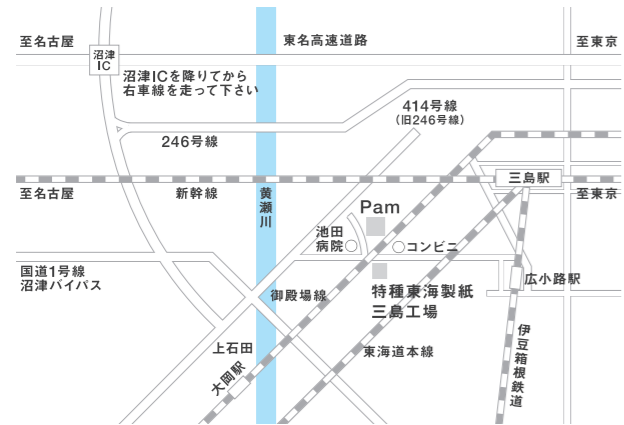


施設案内

名称 特種東海製紙Pam
所在地 〒411-0945 静岡県駿東郡長泉町本宿437
開館時間 月～金 10:00～16:30(最終入館16:00)
休館日 土・日・祝祭日
見学予約 [ご見学には電話、ホームページからのご予約が必要です。](#)
tel 055-988-2401
mail pam-info@m.tt-paper.co.jp
web Pamの展示情報はwebでご確認いただけます。
特種東海製紙Pam <https://www.tt-paper.co.jp/pam/>

アクセス

交通機関
車 東名沼津インターより約10分
タクシー JR三島駅より約5分
バス JR三島駅(南口)より伊豆箱根バスで約15分
大岡経由 沼津駅行き 特種東海製紙前より徒歩5分



紙わざ大賞

Pamはペーパーアートのコンペティション
「紙わざ大賞」(特種東海製紙主催)の事務局です。
紙わざ大賞 <https://www.tt-paper.co.jp/pam/kamiwaza/>
X @kamiwazaaward

Pam-DA

「Pam-DA (Pamデジタルアーカイブ)」は特種東海製紙が収蔵している
およそ90,000点の作品や紙資料の検索・閲覧していただける検索
システムです。
通常Pamには展示していない収蔵品も、多数閲覧していただくことが
できます。アトリウムに設置した80インチの大型ディスプレイ、事務所に
設置したタブレット以外にも、ご来館いただいた皆さまのスマートフォン・
PC・タブレットなどからもアクセスしていただけます。
下記のQRコードを読み取り今すぐアクセスできます。
※Pam館内のネットワーク環境接続時のみ、閲覧可能です。



原弘アーカイブ

「原弘アーカイブ」は日本の近代グラフィック・デザインの確立に寄与した
原弘(1903年～1986年)の業績を永く後世に伝えることを目的に、
1986年より資料受入を始め、その保存、管理、運営に務めてまいりました。
収蔵点数はおよそ30,000点に及びます。原弘自身が手掛けた書籍や
ポスターなど約4,000点を中心に、スケッチや直筆原稿などの周辺資料、
そして原弘自身が向学の念に基づいて収集した国内外の書物やポスター
類などから成り立っています。原弘の格調高いブックデザインはいうまで
もなく、デザインに関する国内外の古典的名著や名作ポスターを網羅
したそのコレクションは、デザインの近代化の過程を歩み続けた1人の
デザイナーの格闘の歴史であると同時に、日本デザイン界の発展過程
を物語る貴重なドキュメントといえます。



ファンシーペーパーの開発にも携わった原弘
(1934年撮影)



TOKUSHU
TOKAI
PAPER

特種東海製紙株式会社
Pam

TECHNOLOGY & TRUST

特種東海製紙Pam

Pam(Paper and Material)は暮らしや文化を彩るファンシーペーパー、産業社会を支える情報用紙・工業用紙など特殊紙の情報発信、販売促進の拠点として、また紙に関する総合的文化交流研究の場として2002年11月に開館いたしました。

Pamでは、私どものものづくりの技術と歩みをより深くご理解いただけるよう過去から現在までの代表的な製品や紙にまつわるさまざまな収蔵品の展示のほか、貴重な紙資料の保護・保存に関する研究成果を検証するスペースも併設しております。

今後もPamでは、紙とデザイン、紙と機能に関してコミュニケーションを深め、紙文化の向上にさらなる努力を重ねてまいります。



建物について

Pamの建築設計は世界的に活躍する坂茂によるもの。三層吹き抜けのアトリウムをはさんで南北に展示室を配置するA館と、旧実験場建屋をリノベーションしたB館で構成されています。A館の外壁には半透明の繊維強化プラスチックを使用し、正面シャッターは3層の高さまで開きます。さらに南側庭園に面してしとみ戸を開閉することで、自然の光が入りこみ開放的な空間が広がります。

A館

Exhibition Zone (3F)

特種東海製紙株式会社が所蔵する作品や資料を展示するほか、紙を媒体とするデザインや、印刷・加工技術に関する情報を発信。また、紙資料の劣化と保存の実験の場としても使われるなど、紙のもつ可能性を追究しています。



Conference Zone (3F)

研究発表や講演が行われるとともに、新製品のプレゼンテーションや発表会、研修にも使われる多目的スペースです。60人が収容可能なこの場所では、紙に関するコミュニケーションが活発に交わされています。



Basic Zone (1F)

創業以来製造してきた数千種の製品のなかから、約300をアーカイブとして保管・展示。特種東海製紙株式会社の主要な製品を時系列でご覧いただけるほか、紙と時代や社会との関わりを知ることができます。



Information (1F)

来館者の受付・ご案内をするレセプションスペース、Pam関連図書や企業情報資料等、特種東海製紙のアーカイブが常時閲覧できるスペースの他、接客・打合せスペース、スタッフのワーキングスペースがあります。



Technical Zone (2F)

最新のインタラクティブ技術を用いた解説システムを導入。実際に製品を手にとってテーブルに置くことで、大型ディスプレイ上の情報にアクセス。ご興味と知識に応じて、製品と紙づくりの技術に関するコンテンツが展開します。



Creative Zone (2F)

特種東海製紙グループが現在製造している紙、それらの紙から作られる製品やサンプルをひと目でご覧いただけます。紙の手触り、質感、コシ、紙が擦れ合う音などをダイレクトに感じていただけます。



B館

Multipurpose Zone

オープンなマルチパーパス・ゾーンとして、展示や新製品のプレゼンテーション、ワークショップ、企画展、巡回展の会場などとして利用されています。



収蔵品

Collection

奈良時代から現代に至るまでの紙資料を収蔵。これらの紙を研究することで、紙の組織や劣化の過程を解明できます。また、調湿紙・無酸紙などの自社製品を用い、紙の保護・保存について検証しながら紹介・展示してまいります。

